

きたすま

五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると…
(使徒言行録2・1)

No. 239 (6月号)

2023年5月28日発行
発行 カトリック北須磨教会
〒654-0151
神戸市須磨区北落合2-3-1

発行人 高橋 聡
編集 広報委員会

小鳥たちの「テ・デウム」

カトリック垂水教会 担当司祭 林 和則

私は垂水小教区内にある愛徳カルメル会のミサを捧げるために、平日の朝は4時50分に起床します。この時期になると、4時半ごろから空が白み始めます。

すると、あちらこちらから、小鳥のさえずりが聞こえてきます。アラームの鳴る前に目覚めた時には、設定時刻まで寝床の中でそれを聞いているのが私にとって大きな楽しみです。小鳥たちは本当にうれしそうに、私には「感謝をこめて」鳴っているように聞こえるのです。その「歌声」に歌詞をつけてみました。

「さあ、みんな、夜の暗闇が終わったよ。

恐ろしい暗闇は終わったよ。

神さまがまた、わたしたちに朝の光をくださったんだ。

また、新しい一日をくださったんだ。

何てすばらしいこと、何てうれしいこと！

わたしたちのために、

この新しい日を創ってくださった神さまに感謝しよう。

声高らかに歌おう、神さまを讃えて！

この歌を「小鳥たちの『テ・デウム』」と名づけました。

私たち人間は朝が来ても「当たり前だ」と思っています。そこに何の不思議も感じません。けれども、もしかしたら鳥たちは夜が来るたびに「もう、この暗闇は終わることがないのでは？」と心配しているのかも知れません。ですから朝が来ると「神さまが奇跡を起こしてくださったんだ」と喜び、感謝しているのかも知れません。小鳥たちの本当に嬉しそうなさえずりを聞いていると、そう思えて仕方がないのです。それを人間は、自然科学の知識が全くない鳥ゆえの愚かさよとあざ笑うのかも知れません。

でも、この世界の何もかもが解明されていて「当たり前」と思ってしまうえば、そこには「驚き」がなくなってしまう。信仰には「驚き」がとても大切です。「驚き」によって私たちは「永遠」や「神秘」を感じることができるからです。

子どもたちにはこの世界は本当に「驚き」に満ちています。「驚き」は子どもたちの感性を絶えず高め、豊かにします。けれども大人になるにつれ、驚かなくなって感性が鈍くなっていきます。

私たちはいつも信仰の感性を磨いておかなければ、この世界に満ちている神の思いを見逃してしまうことになると思います。



諮問委員就任挨拶

2023～24年度の諮問委員から就任のご挨拶を戴きました。

評議会議長 T Y

この度、神父様の依頼があって評議会議長の任につきました。ウイルス禍がほぼ去って、ミサ後にロビーで歓談されているお声が聞けることは嬉しいものです。

久しく中断していた活動も元通りになって行くと思われれます。しかし、信者の高齢化は戻りそうにありません。

そこで、ミサに与るをキーワードに、5年先10年先の北須磨小教区をどのようにして行けば良いか、それを考え始めてはと思っています。

日々の活動も併せてご協力下さい。

使徒ヨハネ K Y

この度、北須磨教会の諮問委員に就任することになりましたことを光栄に思います。

委員として、私の専門領域である分野を活かし、多様な視点からの提言を行い、北須磨教会の発展に貢献できるよう努力いたします。

引き続き、信徒の皆様と共に、より充実した活動を展開するために尽力してまいりますので、何卒ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



T E

コロナ禍で、いろんなことが、中断を余儀なくされましたが、元へ戻すというスタンスではなく、新たな気持ちで、見つめ直したいと思っています。2年間、気負わず、祈りつつお役を務めたいと思います。

イエス様を中心にともに歩いていきましょう！



わたしがここにおります。

わたしを遣わしてください (イザヤ6:8)

T M

この御言葉を励みに諮問委員をお引き受けさせていただきました。お引き受けしたものの、何をするのか、しなければならぬのか分からないのが心境であります。

その反面ですが、私個人的にビジョンがあります。典礼も新しくなったので、過去にとらわれたモノではなく、今必要なモノ、必要でないモノを分別し、新しい風を入れて参りたいと思います。(あくまでもビジョンです!)

このビジョンを見える形に近づけていくには、教会に集う信徒一人一人の協力が欠かせません。信徒会長を始め、諮問委員と団結し、また協力し、喜んで主に仕えますので、皆様のあたたかいご支援をください。また続けてお祈りください。

アタナジオ Y Y


コロナ禍でいろいろ制限があった中、教会のあり方も変化がありました。毎週主日ミサに与かることなく、聖歌も歌うことなく、両形態もなくなり、さらに神戸地区大会もなくなり・・・


やっと、規制が緩和され元に戻ろうとしています。今回、何年かぶりに諮問委員に選出されました。


どこまで元に戻るか分かりませんが、神父さんと、皆さんとともに新たな道を模索しながら築き上げていきたいと思えます。どこまでできるか分かりませんがよろしくお願いします。

2023年6月 典礼奉仕者表								
月日 主日	司式者	先唱者	地区		聖書朗読	地区	聖体奉仕	備考
6/4(日)10時 三位一体	Fr. 高橋	H K	6A	①	K S	4	—	
				②	Y Y	5	—	
6/11(日)10時 キリストの聖体	Fr. 中川	N S	4	①	M Y	3	N Y	
				②	NK	4	H K	
6/18(日)10時 年間第11主日	Fr. 高橋	H T	6A	①	K A	1	—	
				②	Y H	6A	—	
6/25(日)10時 年間第12主日	Fr. 中川	Y K	5	①	MN	4	N S	
				②	Y I	4	H T	

お知らせ

 **ご帰天** 2023年5月4日
ミリアムテレーズ N Yさま(1地区)
永遠の安息とご遺族の平安を祈ります

 **評議会活動報告会**
6月4日ミサ後、聖堂にて
2022年度評議会活動報告会を開催します。多数ご参加下さい。

 **ご転出** 7地区 ⇒大阪梅田教会
マリアフランシスカ H Cさま
お元気で。

編集後記

コロナが5類になり、教会活動もぼちぼち元に戻り始めています。新しい評議会もスタートし、賑わいも出てきました。単に元に戻るのではなく、新しい一歩をと諮問委員の方々も書いておられます。シノドスの歩みを踏まえた新しい教会づくりのため、皆でもう一肌脱いで頑張ろうではありませんか。(KJH)

マンスリースケジュール6月

2023



日・曜日			
6/1 木			
2 金			主日の聖書を読む会(14:00～)
3 土			ロザリオの祈り(14:00～)
4 日	三位一体の主日 ミサ10:00～		評議会活動報告会(ミサ後)
5 月			
6 火			
7 水			
8 木			
9 金			主日の聖書を読む会(14:00～)
10 土			ロザリオの祈り(14:00～)
11 日	キリストの聖体 ミサ10:00～	中川神父講話(ミサ後)	社会活動委員会(ミサ後)
12 月			
13 火	社会活動センター炊き出し(9:30) ミサ(10:30～) みことばを味わう集い(～12:00)		
14 水			
15 木			
16 金			主日の聖書を読む会(14:00～)
17 土			ロザリオの祈り(14:00～)
18 日	年間第11主日 ミサ10:00～		地区委員会(ミサ後)
19 月			
20 火		力障連* 点字部勉強会(13:30～15:00)	
21 水			
22 木			
23 金			主日の聖書を読む会(14:00～)
24 土		広報委員会(10:00～)	ロザリオの祈り(14:00～)
25 日	年間第12主日 ミサ10:00～	中川神父講話(ミサ後)	教会清掃 第1・6A地区
26 月			
27 火	ミサ(10:30～) みことばを味わう集い(～12:00)		
28 水			
29 木			
30 金			主日の聖書を読む会(14:00～)
7/1 土			ロザリオの祈り(14:00～)
2 日	年間第13主日 ミサ10:00～		

カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>

緊急時は高橋神父(090-6329-5709)にご連絡ください。
また、ゆるしの秘跡、病者の塗油、ご聖体をご希望の方も、いつでもご連絡ください。



◇『聖書と典礼』は聖堂後ろに置いてあります。新しいミサ式文の冊子はお持ちください。
◇5/28から信仰宣言が「ニケア・コンスタンチノーブル信条」に戻ります。(待降節まで)

* 力障連: 日本カトリック障害者連絡協議会